

別添第7号様式（第5号様式関係）

福島県市町村特定原子力施設地域振興事業補助金
(広域的減容化施設影響緩和事業分)
事業進捗状況書

1 事業者

住所 田村市船引町船引字畠添76番地2
事業者名 田村市
代表者の氏名 田村市長 本田仁一

2 事業実施期間

着手 平成30年4月19日
完了 平成31年3月31日

3 事業概要

事業名	平成30年度福島県市町村特定原子力施設地域振興事業補助金 (広域的減容化施設影響緩和事業分) 基金事業
事業実施場所	田村市
事業内容	1 事業運営 住民交流事業補助金 2 施設整備 大久保生活改善センター整備事業（新築工事）、防犯灯設置事業 3 維持補修 集会施設修繕事業、道路整備事業、水路等整備事業
事業を実施する理由 (課題・背景等)	広域的減容化施設の立地に伴い、風評被害や生活環境への悪影響等が懸念されることから、それらを払拭し地域振興を図ることを目的として実施する。
事業の目標	1 事業運営 交流等の事業を通じた地域コミュニティの維持、活性化を図る。 2 施設整備 老朽化施設を改築し地域コミュニティの維持、活性化を図る。 また、地域の防犯や交通安全を図る。 3 維持補修 集会施設等修繕によりコミュニティの維持、活性化を図るとともに、地域の通行支障箇所を改善し道路利用者の安全確保を図る。また、水路等の整備により農業環境を向上させる。

事業実施により期待される効果 (直接効果及び中長期的効果)	広域的減容化施設の立地による影響緩和に向けた地域振興を図ることができる。
----------------------------------	--------------------------------------

4 個別事業進捗状況

実施時期	実施内容・進捗状況	今後の展開
H30.5～ H31.3	<p>1 事業運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農推進業務の委託 地見城地区の地域農業強化のため、集落営農組織のスムーズな設立と、法人化に向けた取組を進めるためのコンサルティング業務を委託（H30.5.30～H31.3.30）した。 ・住民交流事業 減容化施設の視察研修並びに地元住民との交流会を開催し、葛尾村の復興等の現状を視察した。 	交流事業等を通じ地域コミュニティの維持活性化を図る。
H30.6～ H31.2	<p>2 施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保生活改善センター設計業務 老朽化した当センターの建替えに係る建築確認申請、監理業務、新築工事を行った。 ・防犯灯の設置 岩井沢北地区に15灯を電力柱やポール柱に設置した。 	老朽化施設の改築により地域コミュニティの維持・活性化を図るとともに地域の防犯や交通安全を図る。
H30.4～ H31.3	<p>3 維持補修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南多目的研修センターの整備 畳（30畳）を修繕した。 ・馬洗戸集会所の整備 施設内の戸、入口の戸を修繕した。 ・大槻生活改善センターの整備 未舗装部分の舗装、備品購入やトイレの改修を行った。 ・道之内繭集荷所の整備 網戸、畳替えや集会所前の舗装を行った。 ・下道之内集落センターの整備 側溝敷設、玄関ドアの交換、網戸の設置を行った。 	集会施設修繕により地域コミュニティの維持・活性化を図るとともに交通支障箇所を改善し安全確保を図る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小滝沢転作推進技術研修センターの整備 水源確保のためボーリング工事を行った。 ・合子地区野菜等出荷所の整備 屋根の葺き替え、内外装・トイレの改修を行った。 ・地見城多目的集会所の整備 トイレ・外壁を改修した。 ・林道下田線の整備 傷んだ舗装路面を修繕し、交通の安全確保が図られた。 ・市道所久保線の整備 傷んだ舗装路面を修繕し、交通の安全確保が図られた。 ・林道せんがくだん線の整備 狭隘な幅員のため落蓋側溝敷設（$L = 50\text{ m}$）により、交通の安全確保が図られた。 ・小保内地区用水路の整備 堰（ハンドル式止水板）を整備した。 ・戸屋集会所の整備 施設内の舗装工事を行った。 (戸屋集会所のみ実施) 小滝沢転作推進技術研修センター舗装は未実施 ・南多目的研修センターの整備 施設内の舗装工事を行った。 ・南地区用水路の整備 U字溝（$L = 158.3\text{ m}$）を設置した。 ・公民館岩井沢分館備品購入 折り畳み式テーブル・座卓、ファンヒーターを購入した。 ・強梨公民館の整備 床張替、内装修繕、備品購入、駐車場の舗装を行った。 ・除雪機購入 除雪機（2台）を購入した。 ・山口繭出荷所の整備 トイレ・照明の改修や床の張替、備品購入を行った。 ・北部生活改善センターの整備 施設内の舗装工事を行った。 	
--	---	--

5 事業全体の進捗状況等

事業全体としての進捗状況	小滝沢転作推進技術研修センター舗装事業以外は平成30年度末までに実施した。
事業実施による効果 (直接効果)	広域的減容化施設の立地による影響緩和に向けた地域振興を図ることができる。
今後の展開	地域コミュニティの維持・活性化を図るとともに地域の防犯や交通安全を図る。

注 用紙の大きさは、A列4番とする。